

2022年7月27日

報道関係各位

「ビーンスタークママ 赤ちゃんに届く DHA」 リニューアルのご案内

雪印メグミルクグループの雪印ビーンスターク株式会社(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:内田 彰彦)は、妊婦および授乳婦向けのサプリメント「ビーンスタークママ 赤ちゃんに届く DHA」をリニューアルし、2022年9月より発売いたします。



90粒入り(約30日分)



30粒入り(約10日分)

1. リニューアルの背景

「ビーンスタークママ 赤ちゃんに届くDHA」(2011年10月発売開始)は、赤ちゃんのすこやかな発育に重要なドコサヘキサエン酸(DHA)を配合した母乳育児のお母さん向けのソフトカプセルです。

この度、当社の母乳研究により、1989年と2016年の母乳調査にて、2016年夏季の母乳中のビタミンD濃度の低下が確認されましたので(図1)、ビタミンDを新配合し、リニューアル発売します。

ビタミンDは紫外線を浴びることで体内で生成されますが、若い世代ほど、紫外線を避ける傾向があり、母乳中のビタミンD濃度に影響している可能性が考えられました(図2)。

2. リニューアルの内容

- (1) 厚生労働省による日本人の食事摂取基準(2020年版)や国民健康・栄養調査などを参考に、妊婦および授乳婦に不足しているビタミンDを補うため、新たに10μg/日(3粒)を配合しました(図3)。
※耐容上限量は、妊婦・授乳婦とも100μg/日です。
- (2) パッケージは、現行基調を継続し、商品中央にビタミンD配合を強調したデザインに変更いたしました。

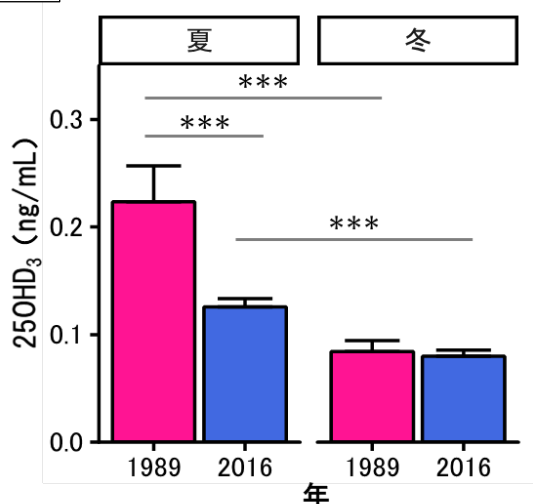
3. 商品特長

- (1) 1日3粒でDHA350mgが摂れ、母乳中のDHA濃度が増えることが期待できます（図4、5）。
- (2) 1日3粒でビタミンD10μgが摂れ、不足しがちなビタミンDを補うことができます。
- (3) 飲みやすいソフトカプセルで、水銀検査実施済みです。

4. 商品概要

商品名	内容量	希望小売価格（税別）	発売時期	発売地域	賞味期間（開封前）
赤ちゃんに届くDHA 30日分	41g（90粒）	1,890円	2022年 9月	全国	545日
赤ちゃんに届くDHA 10日分	13.7g（30粒）	933円			

図1 母乳中ビタミンD濃度の変化



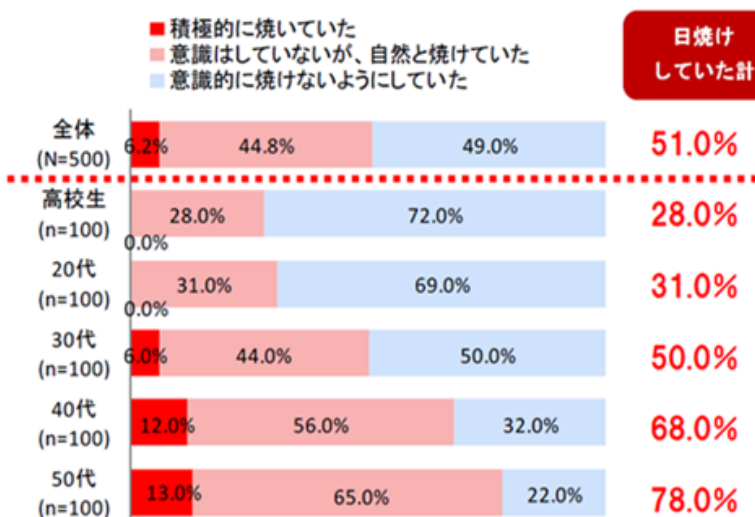
大阪樟蔭女子大学との共同研究
(Tsugawa et al. Nutrients, 2021 より改変)

平均値+標準誤差 *** $p < 0.001$ t検定

※25OHD₃：ビタミンDの体内蓄積状況を示す指標

夏季における日本人の母乳中のビタミンD濃度が以前よりも減少していることが明らかとなりました。

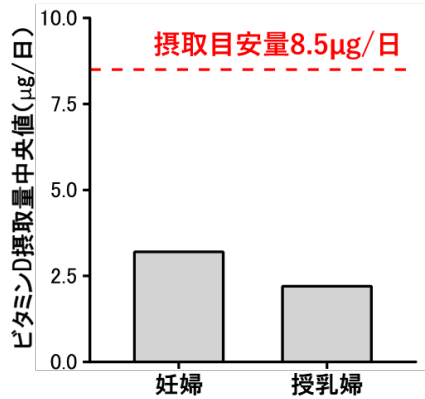
図2 10代後半から20代の頃、日焼けしていたか。(n=500・女性)



ビタミンDは紫外線を浴びることで体内で生成されます。若い世代ほど、紫外線を避ける傾向があり、紫外線を避ける生活スタイルが母乳中のビタミンDの濃度に影響している可能性が考えられました。

株式会社ネオマーケティング調査より

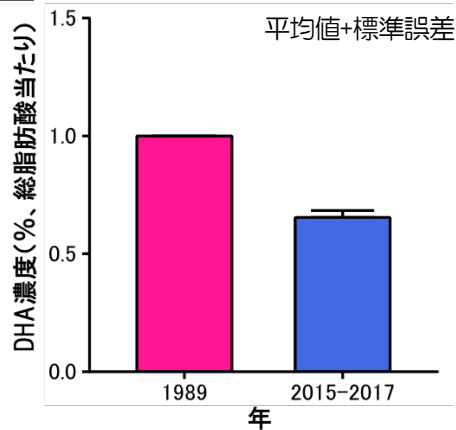
図3 妊婦および授乳婦のビタミンD摂取量と目安量



2019年国民健康・栄養調査および
日本人の食事摂取基準（2020年版）より

ビタミンDの摂取量中央値は妊婦で3.2μg/日、授乳婦で2.2μg/日でした。摂取目安量から大幅に不足している状況です。

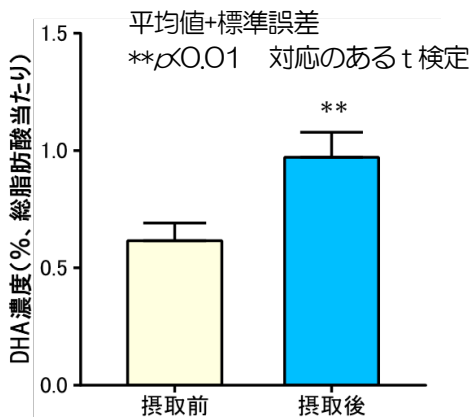
図4 母乳中DHA濃度の変化



全国母乳調査（当社実施）
1989：562名分の母乳を混合したサンプルを分析
2015-2017：78名分の母乳サンプルを分析

母乳中のDHA濃度は1989年は1.0%でしたが、2015-2017年は0.65%まで減少していることが分かりました。

図5 DHA入りソフトカプセルの摂取による母乳中DHA濃度の変化



単群のオープン試験（当社実施）
DHA350mgのソフトカプセルを7日間摂取し、
摂取前後で母乳中DHA濃度を比較（被験者：魚介類の摂取が少ないと感じている授乳婦25名）

1日に3粒（DHAとして350mg）のソフトカプセルを摂取することにより、母乳中のDHA濃度は、0.62%から0.97%に増えることが分かりました。